

40 周年記念事業担当 石井登 弥彦村地域包括支援センター

知らなかったかもしれません。作業療法が今こうして多くの人に届いているのは、技術や知識の研鑽はもとより、これまで多くの人のご指導と、たくさんの関係団体の皆さまのお力添えがあり、そして先輩作業療法士皆様のご尽力があつてのことだということ。私自身は、縁をいただき老年期作業療法研修委員会の委員として参加させていただきました。それ以来、多くの作業療法士の皆様の背中を見させていただき、話を聞かせていただきました。だから、知ることができました。

今も作業療法士の発展のため、そして、作業療法士の価値をより高めるために多くの人が尽力されています。自分たちの作業療法の質を高めることはもちろん、その成果と声を国へ届けることも、作業療法士としての仕事、そして生活を守るために必要不可欠なことなのです。

この 40 周年という節目を、「これからを考えるきっかけ」として、多くの皆様と一緒に感じ、考え、共有できたら嬉しいです。作業療法のこと、そして私たち作業療法士の未来のこと。今一度、知って、感じて、語れる、そんな機会に。

ぜひ、40 周年記念事業にご注目ください。あなたの参加が、作業療法の未来につながっていきます。